

自然エネルギー信州ネット 2016年度定時総会 議事録

1. 開催日時: 2016年6月26日(日)13:30~15:30
 2. 開催場所: 長野市生涯学習センター トイゴ3階 第3学習室
 3. 出席理事、監事、顧問、事務局(敬称略)
出席理事数 5人、出席監事 2名、出席顧問数 1人
理事: 茅野實、平島安人、田村恵子、合原亮一、茅野恒秀
監事: 沖野外輝夫、高木直樹
顧問: 古川浩
事務局: 宮入賢一郎、小田切奈々子、小林有紀子
 4. 出席者数
70名(委任状を含む) 正会員数107の過半数を超えたので、当定時総会は成立
 5. 議事録作成: 小林有紀子
 6. 議長: 茅野實、高木直樹
- 定刻に至り、宮入事務局長により開会を宣し、茅野会長、古川顧問より挨拶がありました。

茅野会長> 自然エネルギー信州ネットが発足して5年が立ちました。「民産官学」が連携し誰でも参加できるネットワークを目指してきたが、最近では停滞気味であった。昨年度は信州ネットの立て直しに向けて1年をかけて取り組んできた。今日が信州ネットの新たな出発の会議となるようにしたい。

古川顧問> 4月から長野県環境部環境エネルギー課課長に就任しました。これまで信州ネットは地域主導の自然エネルギー普及の基盤を整えてきたと思います。おひさまB UNSUNメガソーラープロジェクトを始め今年度は「飯田自然エネルギー大学」における人材育成や5月に開催したdeENetのシンポジウムをきっかけとした産官学協働のあり方などさまざまな形で連携していきたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

事務局推薦により議長の選出を諮ったところ、満場一致で茅野實が選任され、議案の審議に入りました。

議案

第1号議案 理事ならびに会長の選任の件

議長の指名にて運営会議議長の平島理事よりこれまでの経緯を説明。

茅野会長より体調がすぐれない為、定時総会をもって辞任したいとの申し出があった。6月16日に開催した第1回運営会議にて茅野会長の辞任を了解し、信州ネットの監事であり、信州大学工学部教授の高木直樹さんの監事から理事への就任を前提に会長就任を運営会議として推薦した。

平島理事からの説明を受け、以下の2件について議場に諮った。

- ①茅野会長の理事及び会長職辞任。顧問就任。
- ②高木監事の監事退任。理事就任及び会長への就任。

第 1 号議案につきまして全員異議なく、拍手を持って承認されました。

茅野前会長より挨拶

自然エネルギー信州ネット発足以来 5 年間会長を務めさせていただきお世話になりました。課題も多く心残りもあるが、高木新会長とは 20 年来のお付き合いなので安心して任せられます。

高木新会長より挨拶

茅野さんとは 20 年来のお付き合いです。初めてお会いした時こんなに長野県のことを真剣に考えている方がいたと衝撃を受けました。とても尊敬している方です。茅野さんは経済界をリードできる方でしたが、私は大学との連携で協力ができると思います。皆様ご協力よろしくお祈いします。

第 2 号議案 2015 年度 事業報告 資料 1-1 1-2

議長の指名にて小田切より資料の説明があった後、質疑応答では議場からの発言はなく、拍手を持って承認されました。

第 3 号議案 2015 年度 収支決算報告および監査報告 資料 2-1、2-2、2-3

議長の指名にて小田切より説明。その後沖野監事より監査報告実施の説明。質疑応答では議場からの発言はなく、拍手を持って承認されました。

議長交代

以上で 2015 年度の報告が終了し、茅野議長の任を解き、第 4 号議案から高木議長を選任し審議に入りました。

第 4 号議案 監事選任 2016 年度 事業計画(案) 資料 3-1、3-2

議長の指名にて平島理事より説明。専門部会の活動計画については事務局及び出席の部会長より説明。

第 5 号議案 2016 年度 収支予算計画(案) 資料 4

議長の指名にて小田切より説明。

■ 質疑

平島理事>小水力部会の参加人数は 20 名程との説明でしたが、これは勉強会や見学会への参加人数のことでしょうか？

丸山部会長>そうです。部会員は 74 名いますが、参加される方はだいたい固定化されつつあります。

高木会長＞部会員のニーズの確認をすべきではないでしょうか？

会員＞バイオマス部会は木質のみですか？他のバイオマス(例えばメタン)の勉強会もあればいいと思います。

合原理事＞〇〇さんが発起人となってくれば理事としてサポートできるかもしれません。

高木会長＞信州ネットは、会員が主体的に動く団体です。会員が主体的に活動してくれば理事、事務局がサポートします。こんな勉強会があればいいなと思う方はどんどん主体的に活動してください。

他に発言はなく、第4号議案、第5号議案は拍手を持って承認されました。

その他、意見交換等

会員＞NPO 法人上田市民エネルギーを運営しています。現在、公民館や集会所など避難所としての役割ももつ場所に災害時の電源確保も目的とした太陽光パネルを設置する事業スキームを考えています。また、住宅用パネルの初期投資0円事業も検討中です。防災と自然エネルギーを考えるプロジェクトチームとして活動してもいいかもしれないと考えています。

会員＞長野県では平成28年度より太陽光発電については自家消費が補助対象となったが情報が行き届いていない。自家消費の補助対象として採算上適している施設は、老人ホームや冷凍庫が稼働している倉庫など、365日稼働するところです。

平島理事＞自然エネルギーネットまつもとでは、松本地方事務所と一緒に11月ぐらいに防災イベントを行う予定です。環境だけではなかなか自治体を巻き込むのが難しいが、防災とセットにすると巻き込みやすい。

茅野(恒)＞長野県では防災拠点を対象とした助成金はないのですか？

古川顧問＞今年度で終わりだが、環境省のグリーンニューディール基金を活用した事例があり、県内でも導入が進んでいるはずです。

以上の議案の審議を終了し、議長が任を解いて閉会となりました。

以上